

特定非営利活動法人 ALS/MND サポートセンターさくら会

第 21 回 定期総会議案書

(事業年度 2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日まで)

以下の議案と報告事項について、ご確認のうえ、別紙表決書をご返信ください。
ご意見ご質問等がございましたら、本部までお電話でご連絡ください。

表決書提出締切：2025 年 9 月 23 日

さくら会本部：03-3383-1337

I 審議事項

- | | | | |
|---------|---------|------|---------|
| 第 1 号議案 | 2024 年度 | 事業報告 | (活動報告書) |
| 第 2 号議案 | 2025 年度 | 事業計画 | (計画書) |
| 第 3 号議案 | 2024 年度 | 決算報告 | (活動計算書) |
| 第 4 号議案 | 2025 年度 | 事業予算 | (予算書) |

II 報告事項

- 1 監査報告書
- 2 会員数
- 3 役員名簿

第一号議案 2024（R6）年度 事業報告

1， 理事会・事務局会議・主催イベントなど

令和6年8月

- ・19日（月） 第1回理事会（オンライン）

令和6年9月

- ・8日（日） 第2回 今更聞けない制度の話 勉強会（於：さくら会研修センター）
- ・14日（土） 第20回さくら会総会報告会&交流会（於：アルカディア市ヶ谷）

令和6年11月

- ・17日（日） 第3回 今更聞けない制度の話 勉強会（於：さくら会研修センター）

令和6年12月

- ・15日（日） 第4回 今更聞けない制度の話 勉強会（於：さくら会研修センター）
- ・24日（火） 事務局会議

令和7年1月

- ・16日（木） 第2回理事会（オンライン）
- ・19日（日） 第5回 今更聞けない制度の話 勉強会（於：さくら会本部）

令和7年2月

- ・24日（月） 第6回 今更聞けない制度の話 勉強会（於：さくら会研修センター）

令和7年3月

- ・27日（木） 第3回理事会（オンライン）

令和7年6月

- ・19日（木） おしゃべりサロン（於：さくら会研修センター）

<毎月> メルマガ『さくらんぼ便り』の配信

2， 研修事業 別頁をご覧ください。

3, 療養相談

- ・6月より対面・茶話会形式の療養相談、「おしゃべりサロン」を再開しました。
- ・療養相談は電話、メール、インターネット、訪問等でも随時受け付けています。
- ・医療的ケア研修に関する質問も随時研修センターで対応しています。
- ・さくら会会員事業者や各団体、研究所、事業所と連携し、重度訪問介護の利用促進を全国的に支援しています。
- ・会員事業所や賛助会員へのイベント等のご案内、利用者の紹介も適宜実施しています。
- ・医療的ケア児と家族への情報提供やイベント参加を通じ、子どもから大人までの制度利用を支援しています。
- ・首都圏や関東近郊、関西でも在宅人工呼吸療法を選択した独居者の支援を行っています。
- ・多くの他団体と連携しながら、自立生活支援のできるコーディネーターの育成を行っています。

4, 学校での講義（オンライン含む）

ALSなどの難病や重度身体障害に関する介護・制度・倫理について、大学などで講義を行っています。次世代支援者の育成を目指した取り組みです。

・杏林大学、帝京平成大学、日本医療大学、東北文化学園大学、弘前大学、東京家政大学、東京大学、東京科学大学、横浜リハビリテーション専門学校などでの講義や実習受け入れ、中高生によるヒアリング、大学院生への研究協力、論文指導等を行っています。

※理事：伊藤史人さんの活動詳細は、下記ホームページ「ポランの広場 | 福祉情報工学と市民活動」に掲載されています。

<https://www.poran.net/ito/>



5, 講演・シンポジウム・交流会

・コロナ禍で休止していた対面交流会「おしゃべりサロン」（旧「ボンとナッツのおしゃべりサロン」／通称「ぽんなつ」）が、定期的に再開されることになりました。

「おしゃべりサロン」（2025年6/19・7/29開催、11/13開催予定）

場所：さくら会研修センター または 中野区産業振興センター会議室

このサロンは、理事をはじめとするスタッフが相談員となり、人生相談、療養に関するご相談、おやつを囲んでのひととき、生きるための工夫や心の癒し、うちの子（わんにゃんその他ペット）自慢など、内容をゲストの皆さまのご相談やご要望に応じて、さまざまなお話を一緒にするものです。

6月19日の回では、ゲストの居住地近くの地域で事業を展開している会員事業所も参加し、地域関連情報の提供をしたり、後日、支給時間数交渉の作戦を立てに、理事と事務局スタッフが訪問したりしました。7月29日には、自立生活を検討している方や、24時間介助体制を支えるヘルパー募集のご相談に来た方、ご家族の介護経験を有する方などが参加し、情報交換や意見交換が行われました。

当事者ご本人様はもちろん、ご家族の方、介護・医療・福祉に関わる事業者様、ヘルパーの皆様、専門職の方々など、どなたでもお気軽にご参加・ご利用ください。

開催日：2025 年

6月19日（木）【済】／7月29日（火）【済】／11月13日（木）

*ZOOM 対応可。お申し込み時、フォームにその旨おしらせください。

時刻：14:00～16:00

場所：東京・中野区 さくら会研修センター

※お申込み多数の場合は、会場が中野区産業振興センターに変更になる場合もございます。

申込方法：右記QRコードよりお申込みください。



6, 国際交流

当会は、さくらインターナショナル (SAKURA International) として、ALS/MND 国際同盟会議 (アライアンス) の正会員となっています。2024 年 12 月にカナダ・モントリオールで開催されたアライアンスには、理事の川口と会員のロブ・チャペスキー氏が出席し、日本の介護サービス制度について説明し、質疑応答をする機会を得ました。

また、会員の中山優季氏は、アライアンス後に開催された国際シンポジウムに現地参加し、ポスター発表を実施しました。当会では、学会報告の研究調査への協力や、当事者への海外渡航時のアドバイスなども行っています。

2024 年 10 月には、2 件の国際交流活動がありました。10 月 10 日には、会員の姫野友紀子氏がオンラインで「ロクトイン症候群の人びとが経験する対人関係」に関する国際ワークショップを開催しました。日本・スペイン・カナダからの報告を通じて、当事者の視点から日常生活のケアにおける密接な対人関係について、検討が行われました。

http://sakura-kai.net/pon/20241010_workshop/



10 月 30 日から 31 日にかけては、韓国の障害学研究者であり、立命館大学生存学研究所の客員研究者でもある Chong Hee-kyong (じょん・ひぎょん) 氏のアレンジで、韓国の厚生労働省などから来日した障害福祉政策立案者の方々を、当会研修センターと厚生労働省に案内しました。

研修センターでは、喀痰吸引の制度化や重度訪問介護の実施状況について多くの質問があり、重度障害者福祉における医療連携について説明しました。31 日午前は厚生労働省にて照井補佐による重度訪問介護の報酬単価等に関する解説があり、午後はれいわ新選組の天畠議員および舩後議員への表敬訪問に同行しました。

7, 研究事業

第一三共「思いをつなぐ」次世代応援プログラム第一期助成金事業「今更聞けない制度の話 勉強会」

2024年8月、当団体は上記の助成金事業に採択され、¥883,436の助成を受けました。本事業では、若手・中堅の支援者スタッフが、ベテランの支援職から障害福祉制度について直接学び、意見交換することで、知識や経験の継承、世代交代を円滑に進めることを目的としています。

2024年6月に第1回勉強会を試験的に開催していましたが、2024年9月～2025年2月まで毎月1回、テーマに応じた講師による講義、対談と質疑応答を中心とする勉強会を開催しました。

各勉強会の内容は有志の参加メンバーが録音・録画をもとに再構成し、講義資料とともにテキスト形式の「資料集」としてまとめました。

当初は団体間の横のつながり作りを重視していましたが、回を重ねるごとに縦のつながりも生まれ、支援者ネットワークと、相談・質問のしやすい土壌づくりにつながりました。また、歴史をさかのぼる形で制度や運動の流れを整理したことで、複数の講師による視点を活かした体系的な資料集を作成することができました。

資料集『「今更聞けない制度の話 勉強会」資料集』は、下記 URL または QR コードから PDF 版をご覧ください。

<http://sakura-kai.net/pon/imasara>



8, 他団体との協働・協力（敬称略・五十音順）

- ・RDD（世界希少・難治性疾患の日）
日本開催事務局
- ・EOLC 研究会
- ・医学書院
- ・一般社団法人 WITH ALS
- ・一般社団法人 日本 ALS 協会
- ・一般社団法人
日本エンド オブ ライフ ケア学会
- ・一般社団法人 わをん
- ・IKEBUKURO 難病カフェ
- ・江戸川区の介護保障を確立する会
- ・海老原宏美基金
- ・オリィ研究所：
分身ロボットカフェ DAWN ver.β
- ・介護保障を考える弁護士と障害者の会
全国ネット
- ・神奈川県庁
- ・株式会社コボリン
- ・株式会社障害者
- ・株式会社土屋
- ・川崎市と周辺の神経難病コミュニティ
「川崎つながろ会」
- ・QOL 研究会
- ・公益財団法人東京都医学総合研究所
- ・厚生労働省
- ・厚生労働省医薬品審査管理課
コロナ対策委員会
- ・CYBERDYNE 株式会社
- ・SEI-QoL 研究会
- ・自分をプレゼン実行委員会
- ・自立生活センターSTEP えどがわ
- ・社会福祉法人共働学舎
- ・真宗大谷派宗務所しんらん交流館
- ・全国推進協議会
- ・DPI 尊厳生部会
- ・日本生命倫理学会
- ・せりか基金
- ・社会福祉法人 全国社会福祉協議会
- ・全国障害者介護保障協議会
- ・全国脊髄損傷者連合会
- ・全国ホームヘルパー広域自薦登録協会
（略称：全国広域協会）
- ・第一三共「思いをつなぐ」
次世代応援プログラム
- ・ダブル技研株式会社（新心語り）
- ・東京都保健医療局
- ・東京保険医協会
- ・独立行政法人国立病院機構新潟病院
- ・隣町珈琲
- ・中野区医師会
- ・奈良県みんなでたのしむ大芸術祭
実行委員会
- ・日本学術会議健康・生活科学委員会・
臨床医学委員会合同共生社会に向けて
ケアサイエンス分科会
- ・日本財団
- ・日本生命倫理学会
- ・日本難病看護学会
- ・日本保健医療社会学会
- ・日本弁護士連合会
- ・バイオジェンジャパン(株)
- ・本屋 B&B
- ・DPI 日本会議
- ・JIL（日本自立生活センター協議会）
- ・JIL コロナ対策委員会
- ・JPA 日本難病医療連合会
- ・NPO 法人 ICT 救助隊
- ・NPO 法人「境を越えて」
- ・NPO 法人自立支援センターおおいた
- ・NPO 法人せきずい基金
- ・NPO 法人 YAH! DO みやざき
- ・ながさき自立生活センターこころ
- ・立命館大学生存学研究所
- ・立命館大学大学院「LIS とロボット」研究会
- ・JDA（一般社団法人障害者の差別の禁止・
解消を推進する全国ネットワーク）
- ・みんなでゴロンしよう！実行委員会
- ・UNITE（ユニテ）
- ・矢来町薬局
- ・有限会社 LIBRA

9, 学会参加・協力

理事や会員が発表、質疑応答等を行ったもの

- ・一般社団法人 日本理学療法学会連合
- ・日本在宅救急医学会
- ・千葉県理学療法士学会
- ・難病フォーラム
- ・日本家族看護学会
- ・日本生命倫理学会
(エンドオブライフ研究会)
- ・日本産業ストレス学会
- ・日本難病医療ネットワーク学会
- ・日本難病看護学会 (学術集会)
- ・International Alliance for ALS/MND
- ・International Symposium on ALS/MND
- ・全国在宅医療連合学会
- ・障害学会
- ・リハビリテーション連携科学会
- ・日本保健医療社会学会
- ・立命館大学大学院
「LIS とロボット」研究会

10, マスコミ取材・寄稿・執筆・TV 出演

・朝日新聞、毎日新聞、京都新聞、NHK、YomiDr. (ヨミドクター)、バリバラ～みんなのためのバリアフリー・バラエティー (NHK)、月刊誌や専門誌など
取材依頼は理事間で対応者を決め、必要に応じて適切な担当者へつなぎました。

11, その他

・「進化する介護」開催地の決定について

2025 年 9 月 7 日から 8 日にかけて、北海道札幌市において「進化する介護 2025 in 北海道」を開催することが正式に決定しました (9/28 時点では開催済み)。

・映画「杳かなる (はるかなる)」上映会への協力

昨年度完成した穴戸監督による ALS の映画「杳かなる (はるかなる)」の、各地域で開催された上映会の実行委員会に参加し、事務局の運営や会場設営等のお手伝いをしました。

・勉強会「今更聞けない制度/倫理の話 勉強会」

第一三共「思いをつなぐ」次世代応援プログラム第一期助成金事業に採択され、定期的な勉強会の開催と成果物の作成を行いました (詳細は「7.研究事業」参照)。第二期での採択は叶いませんでしたが、勉強会は継続とし、オープン開催も視野にいられていきます。

【研修事業】

・ 第三号研修

《基本研修》

本年度も例年通り、基本研修における演習および筆記試験として、月 4 回程度の来所日を設定し、すべての開催日程において中止はありませんでした。しかし 10 月下旬以降、基本研修（オンデマンド）申込数や来所者数が減少傾向となりました。これは、東京都福祉保健財団が研修をオンデマンド化し、受け入れ可能人数を大幅に拡大した影響とみられます。また、外国籍の受講者が大幅に増え、一例ですが、事業所の担当者・受講者（ヘルパー）・利用者のすべてが外国籍というケースも見られます。事務手続きや「読み書き」が必須となる研修のあり方について、課題は昨年から継続しています。

《実地研修》

2025 年 4 月より、＜一般申込み＞1 組あたりの料金（事務手数料）を 2,000 円から 3,000 円へ改定させていただきました。本事業の開始以来、料金は据え置いておりましたが、処理件数の増加に伴い、非常に煩雑な事務対応が求められており、今回の見直しに至りました^{注)}。

なお、お申込み（受講決定）から評価票等提出（修了証発行）まで 2 週間以内など、非常に短期間で完了するケースが増加しています。鋭意、事務スタッフが対応しておりますが、書類の整備、準備など、今後とも皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

注) 会員事業所様に対しては、引き続き 1 組あたり 1,000 円での対応を継続しております。

* 基本研修開催実績 **49** 回（2024 年 4 月～2025 年 3 月迄 *臨時開催 1 回）

受講者数詳細は、東京都へ提出した別紙「喀痰吸引等研修実施結果報告書」をご覧ください。

* テキスト販売

ALS 協会（鹿児島県支部、神奈川県支部、長野県支部、広島県支部）、(株)アース、ポムハウス、ライフサポートひかり、NPO 法人 ALS かごしまサポートセンター等、各地の登録研修機関の皆様にご購入頂きました。

・重度訪問介護養成研修（A 会員のみ）

本年度も引き続き、講師陣に変更はなく、月 2 回（4 月のみ 1 回）のオンラインスクーリングを、当事者講師の岩岡美咲先生、登り口倫子先生、および事務局の安達の三名体制で分担して実施しております。

昨年度は受講生 56 名中 54 名が研修を修了されました。

* 重度訪問介護従業者養成研修を受講される A 会員事業所の皆様へのお願い

コロナ禍以降、昨年度は受講者数が大きく増加しました。当事者宅で有償ボランティアやアルバイトをする学生さんも戻ってきてくださり、研修にも活気があふれております。

しかし、学生生活との両立の難しさや、メールでのやり取りの経験が少ないこと等から、事前学習課題の提出締切のお知らせを複数回しなければいけない方や、実習期限に実習が間に合わず、補講になる方も目立っております。

そのため、A 会員事業所の研修ご担当者様におかれましては、以下のことを改めてご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

- ・事前学習課題の提出締切と課題の進捗状況を、受講生のみに任せず、事業所側でも把握していただき、余裕をもってご提出ください。締切直前に出された課題に大きな不備等があって、スクーリングまでに再提出が間に合わない場合は、予定の回を受講できない場合があります。
- ・スクーリング前に、必ず一度は派遣予定のご利用者様と受講生が顔合わせできるよう、ご協力ください。受講生に合わせた講義を行うため、スクーリング時に、ご利用者様に必要なケアの内容やコミュニケーションの方法などを確認する場合がございます。
- ・実習カードと研修レポートはセットにして、各事業所の研修担当者様から、さくら会のメールアドレスまでご提出ください。オリエンテーション時にもお伝えしておりますが、受講生本人からレポートだけが事務局に直接提出される例が目立っております。
- ・ご担当者様におかれましては、提出前に実習項目と実習時間数が規定を満たしているか、ならびに 1 日 8 時間以上の実習が含まれていないか、再度ご確認くださいませ。

スクーリング開催実績(オンライン)

18 回（2024 年 4 月～2025 年 3 月迄）

注)A 会員のみ

スクーリング受講者 56 / 修了証発行枚数 54

《第三号研修・重度訪問介護養成研修基礎課程・追加課程 開催実績》

2024 4月	・重訪スク（21日） ・第三号（9日，14日，18日，25日）	10月	・重訪（6日，22日） ・第三号（8日，13日，24日，31日）
5月	・重訪スク（12日） ・第三号（9日，14日，19日，30日）	11月	・重訪スク（10日） ・第三号（7日，12日，24日，28日）
6月	・重訪スク（9日，18日） ・第三号（6日，16日，20日，25日）	12月	・重訪スク（17日） ・第三号（5日，15日，19日，24日）
7月	・重訪スク（7日，18日） ・第三号（9日，14日，25日，30日）	2025 1月	・重訪スク（12日，21日） ・第三号（9日，19日，23日，28日）
8月	・重訪スク（4日，20日） ・第三号（6日，15日，25日，29日）	2月	・重訪スク（16日） ・第三号（9日，13日，18日，27日）
9月	・重訪スク（8日） ・第三号（5日，10日，15日，26日）	3月	・重訪スク（9日，18日） ・第三号（6日，11日，23日，27日，28日） ※3/28 臨時開催
※当法人の会期 7月～6月		4月	・重訪スクーリング（20日） ・第三号（8日，13日，17日，24日）
		5月	・重訪スクーリング（11日，22日） ・第三号（8日，13日，25日，29日）
		6月	・重訪スクーリング（8日） ・第三号（5日，15日，24日）

参考様式

令和7年4月23日

東京都知事 殿

主たる事業所の

所在地 東京都中野区中央3-39-3

申請者 NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会

代表者名 理事長 酒井ひとみ



喀痰吸引等研修 実施結果報告書

社会福祉士及び介護福祉士法附則第6条に定める喀痰吸引等研修について、下記の通り実施したので、省令附則第11条第2項第6号の規定に基づき報告します。

登録研修機関登録番号		1	3	2	0	0	0	0	0	1
申請者	フリガナ	エヌピーオーハウジンエイエルエスエムエヌディサポートセンターサクラカイ								
	事業所名称	NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会								
	事業所所在地	(郵便番号 164 - 0011)								
		東京都中野区中央3-39-3								
		(ビルの名称等)								
	電話番号	03-3383-1337								
研修課程		1. 喀痰吸引及び経管栄養のすべて：省令別表第一研修（不特定の者対象） 2. 喀痰吸引等行為のうち1行為以上4行為以下：省令別表第二号研修（不特定多数の者対象） 3. 各喀痰吸引等行為の個別研修：省令別表第三研修（特定の者対象）								
研修内容	基本研修 (講義)	実施場所	さくら会研修センター							
		実施期間	令和5年 10月 27日 ~ 令和7年 3月31日							
		受講者数	263人				修了者数	260人		
		試験実施日	令和6年 4月 9日 ~ 令和7年 3月28日							
	基本研修 (演習)	実施場所	さくら会研修センター							
		実施期間	令和5年 10月 27日 ~ 令和7年 3月31日							
		受講者数	263人				修了者数	263人		
		評価実施日	令和6年 4月 9日 ~ 令和7年 3月28日							
	実地研修	実施場所	各対象居宅							
		実施期間	令和5年 1月 10日 ~ 令和7年 3月31日							
		受講者数	2,023人 (座学受講修了者+実地のみ申込人数)				修了者数	1,685人 (修了者名簿の人数)		
		評価実施日	令和5年 1月 10日 ~ 令和7年 3月31日							
	研修担当者の 氏名及び連絡先	氏名	大曾根・三神							
	電話番号	03-5937-1370								

※特定の者研修においては、実地研修を在宅で行った場合については、実施場所に各対象居宅と記載すること

添付資料

研修修了者一覧

※ 喀痰吸引等研修 研修修了者管理簿の写しでも可

第二号議案 2025（R7）年度 事業計画

- ① 全国各地の ALS 等在宅療養のコーディネーター、ALS 協会、CIL、病院等に呼びかけて、「進化する介護」を引き続き開催します。今年度開催は 9 月 7 日に札幌。
- ② 重度訪問介護従業者養成研修、第三号研修を毎月継続して開催します。
また、遠隔地からの受講体制の拡充をはかります。
- ③ 感染症の拡大状況や気候に留意しながら、講演会、研究会、懇親会、療養相談会等に参加し、
また開催するなどして専門家や支援団体との交流を深め、ピアサポート活動につなげていきます。
看護学生のボランティアクラブを組織します。
- ④ 重度訪問介護の利用について、電話やメール等で必要情報の提供等を行います。また市町村との交渉の現場に出向くなどして当事者の地域生活を支援します。あわせて、市町村での誤った運用事例について、メディアを通して報道するなどして、厚労省や国会議員等の政策立案者への働きかけも行っていきます。
- ⑤ 重度訪問介護や、介護保険との兼ね合い等、制度の運用に関する情報の提供をおこなっていきます。
- ⑥ 基礎疾患を持つ人の権利擁護に関わる言論活動を積極的に行います。偏った ACP や AD の議論、安楽死（尊厳死）法制化などには、「意思を伝えられずにいる側」の人権擁護をしていきます。
必要に応じて他団体と連携し、院内集会などを企画します。
- ⑦ 学会や大学等での講演、執筆活動を行います。
- ⑧ ALS/MND 国際同盟会議に正会員として参加し、国境を越えて ALS/MND の命を守る連帯を呼掛けます。
- ⑨ メールマガジン「さくらんぼ便り」を毎月発行します。
- ⑩ 穴戸大裕監督による映画「杳かなる（はるかなる）」の興行上映実行委員会に参加します。
- ⑪ 定期的に制度や倫理に関する勉強会を企画、開催します。
- ⑫ 研修センターを移転します。
なお、事務用品等の購入費用を除く、移転にかかる諸費用については特別会計を立ちあげ、一般会計外から支出します。詳細は別紙をご覧ください。

第三号議案

2024（R6）年度 決算報告 （活動計算書）

令和 6 年度活動計算書参照

- ・ 第一三共の助成金事業で¥833,436 の予算を獲得し、（決算書では千円未満切捨て記載）主に制度勉強会の運営費及び報告書の作成費・郵送費として全額年度内に執行しました。（執行分は助成金支出として記載）
- ・ 「人件費」の「謝金」は、昨年度より研修講師への謝礼金のみとなり、事務局スタッフの給与は「その他経費」の「支払い手数料」に入っています。
- ・ 令和 5 年度決算の 2 管理費（1）人件費内「給料手当」は、今年度より、
2（2）その他経費内「地代・家賃」に入っています。

第四号議案

2025（R7）年度 事業予算 （予算書）

令和 7 年度活動予算書参照

- ・ 引き続き、映画「杳かなる」の完成／興行上映会などに協力します。
- ・ 「進化する介護」の開催を継続します。（2025 年 9 月 7～8 日に札幌で開催）
- ・ 研修センターを移転し、研修・相談事業の環境整備としてバリアフリー工事を行い、事務環境の改善も図ります。（予算は特別会計とし、別紙をご参照ください）
- ・ 外出や社会参加の在り方を研究し、実践します。
- ・ セミクローズドの制度・倫理勉強会を年 2～3 回、オープン参加の大規模な勉強会を年 1 回、開催予定です。

第三号議案 令和5年度と6年度 活動計算書比較

千円未満切り捨て

科 目	令和5年	令和6年	増減	備考
I 経常収益				
1 受取会費				
会員受取会費	4,908,000	4,596,000	(312,000)	
2 受取寄附金			0	
受取寄附金	325,000	559,000	234,000	厚労委員会や他団体からの講師謝金を含む
3 受取助成金等			0	
一般助成金	0	883,000	883,000	第一三共助成金（担当：安達）
4 事業収益			0	
研修事業収益	10,290,000	9,969,000	(321,000)	2025.4～実地研修受講料（非会員）値上げ
5 その他収益			0	
受取利息		14,000	14,000	
その他収入	52,000	79,000	27,000	
経常収益計	15,575,000	16,100,000	525,000	
II 経常費用			0	
1 事業費			0	
(1)人件費			0	
謝金	884,000	724,000	(160,000)	研修講師謝金
人件費計	884,000	724,000	(160,000)	
(2)その他経費			0	
助成金支出		883,000	883,000	
会議費		151,000	151,000	
委託費			0	
旅費交通費			0	
通信費/消耗品			0	
印刷製本費	1,465,000	100,000	(1,365,000)	R5年度 研修テキスト増刷
通信費			0	
会場使用料	724,000	428,000	(296,000)	総会報告会・進化する介護会場費等
その他経費計	2,189,000	1,562,000	(627,000)	
事業費計	3,073,000	2,286,000	(787,000)	
2 管理費			0	
(1)人件費			0	
給料手当	324,000	0	(324,000)	
法定福利費			0	
人件費計	324,000	0	(324,000)	
(2)その他経費			0	
旅費交通費	427,000	186,000	(241,000)	国際会議参加費は参加者負担
通信費	759,000	650,000	(109,000)	
交際費	56,000	44,000	(12,000)	
減価償却費	67,000	33,000	(34,000)	
賃借料	623,000	623,000	0	什器レンタル代
保険料	22,000	29,000	7,000	
水道光熱費	202,000	206,000	4,000	
事務用品費	0	11,000	11,000	研修センター電話買い替え
賛助団体会費・寄付	199,000	94,000	(105,000)	
消耗品費	632,000	1,150,000	518,000	PC2台、ポータブルプロジェクター購入
支払手数料	4,827,000	4,960,000	133,000	
地代・家賃	120,000	444,000	324,000	本部使用料等（島田俊弘に対し）
会議費	38,000	38,000	0	
事務費	165,000	165,000	0	
図書費	12,000	0	(12,000)	
広告宣伝費	0	0	0	
雑費	94,000	103,000	9,000	
その他経費計	8,243,000	8,736,000	493,000	
管理費計	8,567,000	8,736,000	169,000	
経常費用計	11,640,000	11,022,000	(618,000)	
当期経常増減額	3,935,000	5,078,000	1,143,000	
III 経常外収益	0	0	0	

○その他の事業を実施していません。

第四号議案 2025（R7）年度 事業予算

千円未満切り捨て			
科 目	2024年度決算	2025年度予算	備考
I 経常収益			
1 受取会費 会員受取会費	4,596,000	4,600,000	
2 受取寄附金 受取寄附金	559,000	600,000	
3 受取助成金等 一般助成金	883,000	0	
4 事業収益 研修事業収益	9,969,000	10,000,000	
5 その他収益 受取利息 その他収入	14,000 79,000	14,000 79,000	
経常収益計	16,100,000	15,293,000	
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
謝金	724,000	725,000	
人件費計	724,000	725,000	
(2) その他経費			
助成金支出	883,000	0	
会議費	151,000	150,000	
委託費	0		
旅費交通費			
通信費/消耗品費			
印刷製本費	100,000	100,000	
通信費			
会場使用料	428,000	400,000	
(2) イベント関連費	0	1,000,000	「進化する介護」in 札幌
雑費			
その他経費計	1,562,000	1,650,000	
事業費計	2,286,000	2,375,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0	0	職員給与は支払い手数料へ
法定福利費	0	0	
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
旅費交通費	186,000	500,000	出張出張費など
通信費	650,000	800,000	
交際費	44,000	200,000	供花など
減価償却費	33,000	100,000	
賃借料	623,000	650,000	什器レンタル代
保険料	29,000	29,000	
水道光熱費	206,000	500,000	センター移転のため増額
研修費			
事務用品費	11,000	1,000,000	移転に伴う事務用品買い替え
租税公課			
賛助団体年会費・寄付	94,000	200,000	
消耗品費	1,150,000	800,000	電子機器購入
支払手数料	4,960,000	5,500,000	事務職員3人分人件費含む
図書費	0	10,000	
地代・家賃	444,000	444,000	本部使用料等（島田俊弘に対し）
会議費	38,000	50,000	
事務費	165,000	165,000	
修繕費	0	100,000	
広告宣伝費	0	100,000	
雑費	103,000	100,000	
その他経費計	8,736,000	11,248,000	
管理費計	8,736,000	11,248,000	
経常費用計	11,022,000	13,623,000	
当期経常増減額	5,078,000	1,670,000	

註	
1	II 2（2）の交通費・旅費について、さくら会としての学会等報告にかかる旅費。
2	II 2（2）の交際費について、冠婚葬祭費。主に供花等。
3	II 2（2）の賃借費について、複合機等レンタル。
4	II 2（2）の水道光熱費について、10月以降、研修センターの広さが倍になるため水道光熱費は嵩む予定。
5	II 2（2）の事務用品費について、研修会場の机、椅子、書類棚、事務デスク椅子、キャビネット等買い換え。
6	プロジェクター、冷蔵庫、掃除機など買い換え
7	II 2（2）の支払手数料について、広域協会所属の者を除く事務員3名の給与（内2名のボーナスは別団体から支給しているが見直しが必要）。 1名を除いて、事務員は広域協会（3名）、ケアサポートモモ（2名）からの派遣のため、給与支払いでなく、団体への支払手数料扱いとしている。
8	II 2（2）の地代・家賃について、事務所利用料月額3万7000円（見直しが必要）。

監査報告書

NPO法人 ALS/MNDサポートセンターさくら会
理事長 酒井ひとみ 殿

令和6年度(令和6年7月1日から令和7年6月30日迄)の事業報告、
貸借対照表、活動計算書、財産目録及び会計関係明細書を監査した
結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

令和7年8月15日
瀬高宏行会計事務所

監事 瀬高 宏行



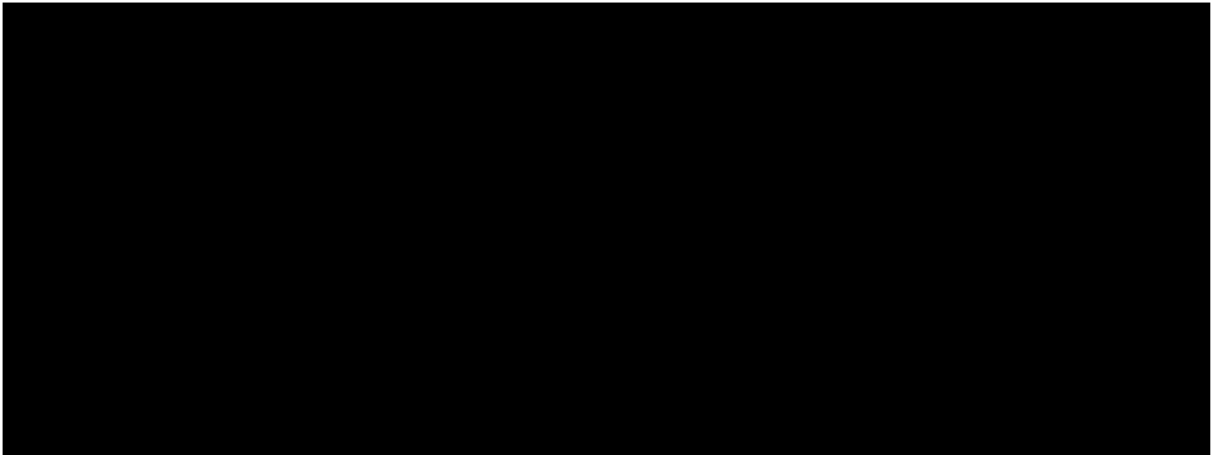
全会員に配布する報告書には、「会員数のみ」を記載します。お取り扱いにご注意ください。

R6 年度会員 記録（2025.6 月末日現在）

A 会員 12 社



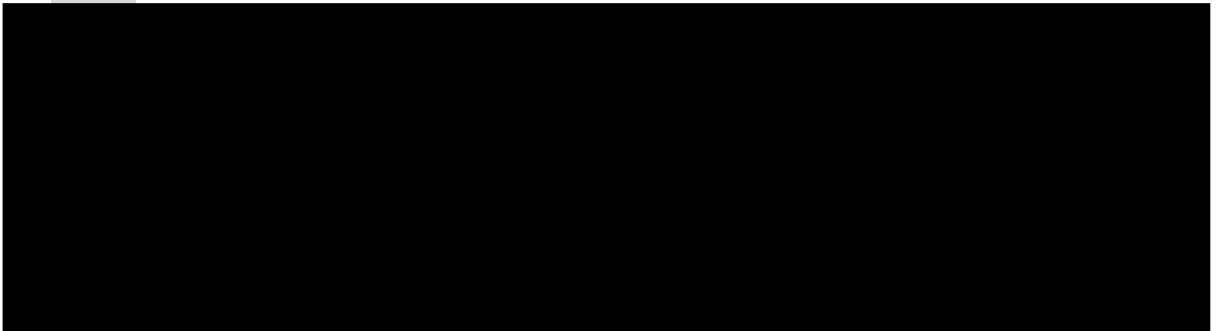
B 会員 12 社



賛助会員 123 名

- ・新規 11 名
- ・更新 105 名（理事を除く。また同一住所、複数回の納入を整理したもの）

◆ ご寄付（会費とは別、又は 2 口以上）頂いた方 計 559,000 円



2025（令和7）年度 役員一覧

理事長 酒井 ひとみ

副理事長 川口（島田）有美子

 小河原 恵

理事 杉本 孝子

 小長谷 百絵

 伊藤 史人

 塩田（田中）祥子

 増田 潤

 山口 和俊 （新任）

監事 瀬高 宏行

6年度 貸借対照表

特定非営利活動法人ALS/MND サポートセンターさくら会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	46,487,480	46,487,480
	流動資産合計・・・①		46,487,480
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	什器備品	46,145	46,145
	固定資産合計・・・②		46,145
【A】資産合計 ①+②			46,533,625
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	短期借入金	3,716,581	
	未払金	206,868	
	預り金	17,587	
	流動負債合計・・・③	3,941,036	3,941,036
負債合計 ③			3,941,036
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	37,487,211	
	当期正味財産増減額	5,105,378	
正味財産合計		42,592,589	42,592,589
【B】負債及び正味財産合計			46,533,625

【別紙①】NPO法人ALS/MNDサポートセンター 研修センター 移転にかかる予算

- ・第二号議案に記載のとおり、研修センター移転にあたり、ここから特別会計を立ち上げます。
- ・予算は¥10,000,000前後を見込んでいます。
- ・予算の内訳につきましては、【別紙③】オフィス移転・改装費用概算をご覧ください。

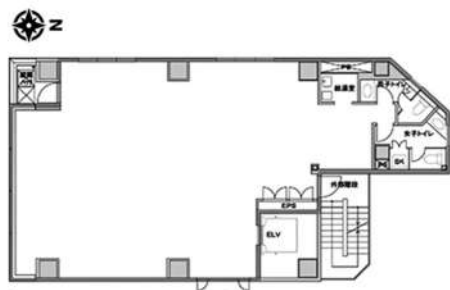
※物件の契約が8月末に決定したため、現在内装業者との見積もり段階で、
 正式な予算のお知らせが間に合いませんでした。
 9月28日の総会報告会当日にも、新たな進捗についてお知らせ予定です。

◆移転先：KI ビル（新中野）



・住所：〒164-0011
東京都中野区中央4丁目1-2 KIビル8階

物件概要	
所在地	東京都中野区中央4丁目1-2
交通	東京メトロ丸ノ内線 新中野駅 1分
規模	地上10階建て
竣工	1992年8月
耐震基準	新耐震基準
構造	鉄骨(5造)
基準階坪数	42.09坪
物件詳細・設備	
エレベーター	1基
情報通信設備	光ファイバー
空調	個別空調
セキュリティ	機械警備



40.68坪

階数	面積	賃料(共益費込) (坪単価)	保証金/敷金	礼金
8階 詳細をみる	G 40.68坪 (134.48m ²)	578,520 (14,221)	3,471,120 (85,327)	1.0ヶ月

ナチュラルテイスト＋デザイン重視のオフィス移転・改装費用概算

150 m²のワンフロアを3分割し、車椅子対応トイレ造設・フリーアドレス事務スペース・リラックスゾーン・会議室(研修室)を含む構成です。

オフィス移転・改装費用概算(デザイン重視・ナチュラルテイスト)

項目	概算費用(税込)	内容
車椅子対応トイレ造設	¥1,200,000	バリアフリー設計、手すり、広めのスペース
パーティション設置(クリア)	¥1,000,000～ ¥1,500,000	強化ガラス、フレームレス仕様、空間分割
内装デザイン・施工	¥2,000,000～ ¥3,500,000	壁紙、照明、グリーン演出
家具・什器(ナチュラル系)	¥1,500,000～ ¥2,500,000	フリーアドレスデスク、収納、ソファ、テーブルなど
電気・LAN・空調工事	¥700,000～ ¥1,000,000	ゾーン分けに合わせた配線・空調調整
引っ越し業者費用	¥400,000～¥800,000	荷物量・距離・作業人数による
原状回復工事(旧オフィス)	¥500,000～¥800,000	契約内容により変動
登記・印刷物変更	¥100,000	名刺・封筒・Web サイトなどの更新

総額目安

- 控えめ仕様: 約 ¥7,000,000

- こだわり仕様(素材・演出重視): ¥9,000,000～¥12,000,000

空間構成のポイント

- 事務スペース(6名・フリーアドレス): 長テーブル＋個別ロッカー＋観葉植物で開放感と機能性を両立
- 会議室: クリアパーティションで仕切り、テーブル、いす、研修用ベッドなど
- リラックスゾーン: ソファ＋グリーン＋アロマで癒し空間を演出